

# ATACカンファレンス2018 京都 開催のお知らせ

ATACカンファレンスは「テクノロジー」と「コミュニケーション」をキーワードに、社会の中で困難を抱える人たちを支援する技術と考え方を多くの人と共有するために1996年から毎年開催されています。今年は更に先を見つめ、これまでの内容に加えて、その技術を活用して人が幸せに「学ぶ・働く・暮らす」生き方の創造・社会の意識の変革・制度の整備にまで踏み込んで、福祉や教育分野以外の幅広いみなさんと共に考える機会も企画したいと思います。セミナーでは、現場ですぐに役立つ技術や、それを用いるために必要な考え方を専門家が分かりやすくお話しします。

[www.atacconf.com](http://www.atacconf.com)

[日 程] 2018年 **12月15日(土)** ~ **12月16日(日)**

15日(土) 9:30~17:00 (受付開始 9:00) **Gathering Day**  
16日(日) 9:00~16:20 (受付開始 8:30) **Practical Day**

[会 場] **国立京都国際会館** 〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

[主 催] **株式会社 atacLab**

[参加費] 一日 12,000 円, 二日 24,000 円 (事前割引あり)

AI (人工知能) やロボットをはじめとして、我々をエンハンスメント (能力増強) する技術の発展が話題になっています。おそらく福祉や特別支援教育にも導入が進むでしょう。今まで当たり前と思っていたことが突然逆転する可能性さえありそうです。この社会の急速な変化の中で、障害当事者や高齢者の生活はどう変わり、特別支援教育や福祉のサービスはどうなっていくのでしょうか。

エイタック

## 今年のATACカンファレンス テーマ「Chapter two 未来の中の過去」

スマホやスマートスピーカーが徐々に日本でも普及しています。個人の利用に関しては何の規制もないためさらに広がっていくでしょう。その一方で、電子決済システムやライドシェアなどの普及は規制やユーザーの保守的態度に阻まれて途上国の方が先行しています。このまま進めば、社会インフラの整備においては世界の中で日本は大きな遅れをとる可能性があります。1980年代にApple Computerから出されたChapter Oneというビデオがあります。

それを見ると、障害のある人が、音声認識などの技術を用いて様々な機器を制御し生活する未来が描かれています。それから30年後の今、スマホ、タブレット、スマートスピーカー、自動11運転車の登場によってそれは現実のものとなりました。テクノロジーが障害のある人の能力を高め、生活を変えてきたのは誰もが認識しているところです。

しかし、未だにその恩恵が限定されている人がたくさん存在します。スマートスピーカーがあっても簡単にタクシーを呼んだり電話できるわけではありません。それを使って入試を受けられるわけではありません。

その背景にあるのは何でしょうか？規則に守られた安定した生活とそれにひたっている人々の意識こそがそれを阻んでいるような気がします。今の最先端の技術で障害のある人が自由を手に入れたように感じるのは錯覚です。それは限られた世界の中での自由にすぎません。今年のATACカンファレンスでは皆さんと一緒に **Chapter Two** を描いてみたいと思います。

**atacLab**

学習・生活・就労支援サービス

ATACカンファレンス事務局

株式会社 atacLab / エイタックラボ

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16-28 グラスシティ渋谷 6F

Tel : 03-4360-5078 / Fax : 03-5309-2088

e-mail : [seminar@atac-lab.com](mailto:seminar@atac-lab.com) URL : <http://atacconf.com>

●12/15 (土) Gathering Day : 皆で集まりこれからの社会を議論し, 整理する

「テクノロジーが支える学びと未来」

中邑 賢龍 (東京大学先端科学技術研究センター 教授) 他

「テクノロジーが支える働き」

「テクノロジーが支える受験と未来」

「テクノロジーが支える生活と未来」

他 セミナー・機器展示・一般発表・講師による相談会 等

●12/16 (日) Practical Day : 実用的知識や考えを身につける 当日ご自由に選択してご参加ください

※当コースは, 特別支援教育士 (S.E.N.S)、特別支援教育士スーパーバイザー (S.E.N. S-SV) 資格更新のためのポイント (1 P) として認定されます (予定)。

各セッション (1 時間半)

【言葉の理解が不十分な重度知的障害や自閉症】

- (1) 言語指示が全く通らず勝手に行動するためトラブルにつながる
- (2) 集団に入るとパニックが頻発する
- (3) 他者依存的で能動的行動が見られない
- (4) 見通しが不安で予定変更になりだし、こだわりが強く次の行動に移れない

【通常級の中で学習が遅れ自信を失った子ども】 ※

- (5) 個別に診断を受けたくないが読み書きに苦手があるようだ
- (6) 読み書き障害があるかどうかの評価はどうやって行うのか?
- (7) 英語の学習だけに困難があるのだが学習方法が分からない
- (8) 読み書きを補うアプリを知りたい

【知的障害のない重度肢体不自由】

- (9) 重度脳性麻痺がありスイッチのフィッティングが難しい
- (10) 進行性筋疾患がありスイッチのフィッティングが難しい
- (11) 狭いベッド周辺に機器の設置が難しい
- (12) 機器の購入に制度を活用したいが分からない

【就労に困難を抱える発達障害や精神障害】

- (13) 生活リズムが安定せず就労がうまくいかない
- (14) 職場でのコミュニケーションのトラブルが頻発する
- (15) 上司の指示がわかりにくく職場での仕事の手順に混乱する
- (16) 長期の引きこもりのため働くことへの意欲が低い

【学習に遅れのある通級に通う子どもや不登校児】

- (17) 学習意欲が低下している
- (18) 活動には関心があるが教科書は開かない
- (19) 宿題を出してもやってこない、提出物をなかなか出さない
- (20) 暴言をはいたり、言っても何もしなかったり、家での生活が乱れている

【反応が乏しく理解しにくい重度重複障害】

- (21) 反応はあるが変化が大きく何を理解し要求しているかはっきりしない
- (22) ほとんど反応がなく、どのように接していいか分からない
- (23) 好きな飲み物は理解したいがどうしていいか分からない
- (24) おもちゃで遊ぶことが出来ず受身的な生活から抜け出せない

一般発表・ポスター発表も募集予定です。内容に変更の可能性があります。詳細・お申し込みは、ホームページを参照ください。

●12/14 (金)

特別セミナー・FIKA カンファレンス も開催されます。  
詳細は、ホームページを参照ください